



再スタートを切って

学年での登校、学級を二つに分けての分散登校と段階的な登校スタイルによって、少しずつ学校や新しい生活様式に慣れてもらう期間を設けました。そして、6月1日より本格的なスタートを切ることができました。生徒や保護者の皆様には、多大な苦勞をかけてしまったわけですが、生徒が元気に登校してくれている姿を見ることができ、大変嬉しく思います。



検診も距離をとって

現在でも、生徒会健康委員会を中心とした新型コロナウイルス感染症への予防の呼びかけであったり、教室前に設置してあるアルコールによって手を消毒したりして感染予防に努めています。しかし、再スタートを切って3週間が過ぎることもあり、慣れを心配しています。一人ひとりの意識の持ちようの大切さを、指導していきます。また、“**3密から3とる**”へ、との新しい生活様式も必要であると言われていました。3とるとは①距離をとる ②マスクをとる ③水分をとる とのこと。夏を迎えるにあたって熱中症へのケアも必要となり、このように変化をしているようです。“**自分で自分の身を守る**”ことが意識できるように、今後も生徒とともに考えていきたいと思ひます。

村からは、熱中症予防ということで、各教室用に大型の冷風扇を用意してくださいました。有効に使用させていただきます。



教室前のアルコール



導入される冷風扇

生徒の様子から

1年生 毎日楽しそうに学校生活を送っているように見受けられます。部活動にも入部をしました。上級生の格好いい姿を目の当たりにして、その姿に近づこうと頑張る姿があります。

原村ならではの作物を作ろうと、シャベルや鋤を使って畑を耕しています。今年は、生で食べられるトウモロコシを、講師の折井さんにお手伝いいただく中作る予定になっています。

2年生 クラス替えがあり、新しい友達・新しい担任との生活が本格化してきています。にこやかに元気で登校する中、日々の活動に積極的に関わってくれています。

本年度の生徒会が発足したこともあり、来年度原中学校を引っ張っていく学年として、学年の生徒会もスタートさせていく予定との話を聞きました。3年生の素敵な姿をしっかりと見てくれているようです。

3年生 4月開催予定であった生徒総会を、過日放送で行ってくれました。例年とは違った形に戸惑いながらも、本年度のスローガンである“ピース”～一人ひとりが繋がる～について、説明するとともに、挑戦・あいさつ・全員参加の3本柱について、協力を求めています。

本校の活動の中核でもある原村学もスタートし、本年度の講座を決めています。原村の特産品、原村に住もう、原村紹介、昨年初めて醸造することができたブドウでワイン造りや、原村から平和を発信・平和学習の5講座、原村を感じられる活動を充実させてくれそうです。

6月是人権教育月間

各学年において、道徳や学級活動を使って人権教育を学んでいます。私たちが持っている権利とは何であるのか、その権利を守るための義務は何かといったものや、ハンセン病患者への差別といった内容など、学年の計画に沿った学習を進めています。

ある日の3年生は、「上手な関係が築けない時にはどうしたら良いか」資料を使って考えました。

○自分が苦手だなあと感じる相手にも、とりあえず笑顔で話してみようかなと思った。

○ずっとそう思っていたことが、自分の態度ひとつでも大きく変わることになるので、態度というものは大事なあと思いました。

3年生の感想より

人権については月間だけではなく、機会あるたびに考え学んでいきます。

これからの活動から

期末テスト 7/13・14

本年度最初のテストを行います。

本格的な授業がスタートしたばかりですが、学習の定着を確認します。

1年生にとっては、中学校に入って最初のテストになります。学年で内容等が出されますので、少しずつ準備を進めてください。

参観週間 7/20～22

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症予防のために、学校への登校を控えていただいています。ご協力ありがとうございます。

しかし、消毒・密への対応等に協力いただく中、授業参観は可能と判断し、参観週間を設けます。

廊下よりの参観となりますが、ご来校願います。詳細については、後日連絡をさせていただきます。

三者懇談

8/3・4・5を予定

本年度、家庭訪問を開催することができなかったこともあり、原小学校とも連絡を取り合う中、全学年で懇談会を実施することにしました。8/3・4・5を基本として行う予定となっています。お仕事等の都合もあろうかと思しますので、その際は担任に相談願います。

ご苦勞をおかけしますが、よろしく願いいたします。

県宝が飾られる学校・本物の土器に触れられる学校

県宝でもある“火の女神 フウちゃん（前尾根遺跡（柏木）出土顔面装飾付釣手土器）”が、分散登校中、昇降口に飾られていました。現在は、縄文時代前期の高台付角形浅鉢が飾られており、興味深くそれを覗く生徒がいます。

村の一番の宝物は、生徒の皆さんです。さらに、皆さん以外にもたくさん宝物が本校、そして原村にあります。その一つが、村に多く



ある縄文時代の遺跡と出土品です。本校には、村の文化財係の方が定期的に出土品を展示してくれています。また、本物の土器を気軽に触れるようにしてくれています。



火の女神 フウちゃん

縄文時代原村を含むこの八ヶ岳山麓は日本の銀座のような存在で、たくさんの人が暮らしていたと言われています。そして、原中では、気軽にその出土品を見たり触ったりすることができます。何か不思議な感じがします。このようなことができる学校が、日本にいくつあるのでしょうか。とても幸せな気持ちになります。